

学校だより

豊かっ子



喜多方市立豊川小学校
令和2年7月7日(火)
発行者 校長 遠藤 信恵
第7号

【教育目標】 健康で自らを育てる 心豊かな児童の育成
◎ (心も体も) つよい子 ◎ (自然と友達に) やさしい子 ◎ (真剣に) まなぶ子

学力向上をめざす校内研修の取組 ～第1回授業研究会～

毎年、児童の学力向上をめざしてテーマを設け、全教職員による授業研究を中心とした校内研修に取り組んでいます。

今年度は、研究主題を『互いに関わり合い合いながら、主体的に学ぶ子どもの育成 ～確かな知識・技能を身につけ、算数科における「深い学び」を目指して～』としました。このテーマから、目指す児童像を「進んで関わり、最後までねばり強く取り組む子ども」とし、目指す児童像の具現のために、算数科の授業実践はもとより、家庭学習やスキルタイム等の工夫に取り組んでいきます。



【ペアでの話し合い】



【自分の考え方を黒板で説明】

6月29日(月)には、5年生で第1回目の授業研究会を行い、「どうすれば四角形の内角の和を求めることができるか」という課題に取り組みました。「分度器を使わない。」という先生の言葉に、子ども達は一瞬困ったような表情を見せましたが、すぐに頭を切り替えて別な方法を考え始めました。これまで学んだことを思い出すよう指示があると、三角形に分けることや対角線を使うことなど様々な考えが出されました。ペアでの話し合いから全体での確認に移ると、代表児童の説明を聞きながら、これまで学んだ三角形の内角の和を使って考えれば求められることに全員が気づくことができました。日頃の授業でもしっかりと課題に向き合い、友達との意見交換で考えを深めながら学習している5年生です。今回の研究授業の成果と課題から、さらに「深い学び」を目指していきたいと思えます。



【教職員の事後研修会】

6月29日(月)には、5年生で第1回目の授業研究会を行い、「どうすれば四角形の内角の和を求めることができるか」という課題に取り組みました。「分度器を使わない。」という先生の言葉に、子ども達は一瞬困ったような表情を見せましたが、すぐに頭を切り替えて別な方法を考え始めました。これまで学んだことを思い出すよう指示があると、三角形に分けることや対角線を使うことなど様々な考えが出されました。ペアでの話し合いから全体での確認に移ると、代表児童の説明を聞きながら、これまで学んだ三角形の内角の和を使って考えれば求められることに全員が気づくことができました。日頃の授業でもしっかりと課題に向き合い、友達との意見交換で考えを深めながら学習している5年生です。今回の研究授業の成果と課題から、さらに「深い学び」を目指していきたいと思えます。

正しい歯磨きで、よい歯をつくろう!



【歯の模型で説明】

むし歯予防や治癒の実践力を身につけ、自ら健康づくりに努める子どもを育てるため、6月を「よい歯をつくろう月間」として、4日から12日までは、養護教諭が給食後に各学級を訪問してブラッシング指導を行い、23日と24日には、歯科衛生士の齋藤久美子先生が、各学年の発達段階に合わせた内容でブラッシング指導を行いました。(1年生は7月10日に実施します。)毎年実施しているため、子ども達は前年度に教わったことをよく覚えていて、先生の質問にもテンポよく答えていました。しかし、いざ歯の染め出しをやってみると、きちんと磨いたつもりがあちこち真っ赤に染まっていて、磨き残しの多さに驚いていました。小学生のうち、大人が仕上げ磨きをしてあげることが必要だそうです。また、むし歯予防になる唾液を出すためには、マスクをしている時も口を閉じて鼻で息をすることが大切だというお話がありました。



【上手につっこみ磨き】

お願い 7月10日(金)から19日(日)まで、夏休みに向けて家庭学習の習慣づけができるように、「めざせ!!家庭学習名人」の取組を行います。お子様の家庭学習の様子をご確認いただき、励まし等のご協力をお願いいたします。なお、詳細につきましては、9日(木)に文書でお知らせいたします。



健康な稲を育てるために ～除草・イオン水散布～

6月22日（月）、農業科支援員の只浦さんの指導を受け、稲が健康に育つようと除草とイオン水散布を行いました。昔ながらの「ころばし」という道具を使って、泥に足を取られながらも稲と稲の間を押し引き



【勢よくイオン水を散布】

たりして雑草を取っていきました。イオン水は「木酢」を水に混ぜたもので、燻製のような独特のにおいがしました。子ども達は、向かい風に乗って飛んでくるイオン水を全身に浴びながらもホースを離さずに、協力して散布することができました。

各学年で植えた畑の作物も、農業科支援員の細田さんの指導のおかげで順調に育っています。子ども達は、活動を通して農業の基礎知識を学び、土の中の様々な生き物との触れ合いを楽しみながら、作物が生長していく喜びを味わっています。



【ころばしで除草】

新聞について学びました ～新聞出前授業～

6月30日（火）は4年生、7月3日（金）は5年生で、福島民報新聞社の出前授業を実施しました。今回の授業では、新聞ができるまでの過程や新聞の歴史を学ぶだけでなく、実際の新聞を使って、分かりやすい文章の書き方についても学びました。子ども達は、新聞から興味を持った記事をいち早く見つけ出し、選んだ理由や感想をまとめました。発表を聞くと、自分なりの視点を持って記事を選んでいることにとっても感心しました。「新聞は難しいと思っていたけれど、楽しかった!」「家でも続きが見たい。」などの感想が聞かれ、子ども達が新聞に興味をもってくれたことをうれしく思いました。



【新聞記事に興味津津】

1日分の新聞には800もの記事が掲載されていて、新書約1冊分の内容に相当するそうです。様々な電子メディアによる情報が氾濫している今だからこそ、新聞を通して豊富な知識を得て正しい判断力を養っていくことは、これからの社会を担う子ども達にとって大切であることを、改めて実感できた授業でした。



【民報号で作った号外】



気持ちのよい「あいさつ」をしよう!

5月26日（金）の全校集会で、「気持ちのよいあいさつ」についてのSST（ソーシャルスキルトレーニング）を行いました。SSTとは、社会の中で人と人が関わりながらよりよく生きていくために必要なスキルを身につけるためのトレーニングのことです。

今回のSSTのねらいは、①「気持ちのよいあいさつ」とはどんなあいさつかを考え、あいさつの仕方を身につける。②「気持ちのよいあいさつ」を体験することで、進んであいさつができるようにする。の2つです。4人の教職員が先生役と子ども役になり、登校してくる子ども達のあいさつを3通り演じてもらい、「気持ちのよいあいさつ」とはどのようなものなのかを全校児童に考えてもらいました。たくさんの児童が挙手をして気づいたことを発表することができました。「気持ちのよいあいさつ」のために大切なことは、「自分から先に」「相手の顔を見て」「笑顔で」「丁度よい声の大きさで」「おじぎをしながら」であることを全体で確認し、実際にペアであいさつの練習をしてみました。最後に、「日頃からお世話になっている地域の方にも気持ちのよいあいさつをすること」を話しました。すると、全校集会が終わってから、2年生の児童が「生活科の見学で外に行くので、今日からやります!」と声をかけてくれました。話を聞いてすぐに行動しようという素直な気持ちをととてもうれしく思いました。



【先生と子ども役で演技】



【気づいたことを発表】

家庭や地域の中でも、子ども達のあいさつについてご指導ください。